

なかしま保育園

園目標『夢中になって遊ぶ子』

なんだろう？ おもしろそう！ やってみよう！

～子どもの意欲や想いを大切にします～2023 秋



「ライオンキング」の劇を発表会でやることを決めた年長児は、イメージに合ったサバンの絵を描き、身に付けるお面や衣装を作り始めました。昆虫好きの子どもたちからは、「虫になって出たい」という意見があり、年長ひまわり組ならではのライオンキングになりました。



秋が深まり園庭は落ち葉でいっぱいになり、きんもくせいの花も満開になりました。手で葉っぱを集めて「それー」と投げてシャワーにしたり、花の香りに鼻を近づけて嗅いだりと身近な自然に五感を使って関わっています。



年少児が大切に育てた「さつまいも」みんなで洗って、食べる準備中です。



話の内容だけでなく、どういう風にセリフを言うと、喜んだり、怒ったり、悔しがったりを表現できるかなど、友だちと相談しながら、一つひとつの劇を作っていました。期待やワクワク感、楽しい気持ちなどが日に日にあふれてきました。



年少児は、絵本「くれよんのくろくん」がとてもお気に入り、クレヨンくん人形を使って、友だちと一緒に絵本の世界を楽しんでいます。



すすきの穂を使ってパーティーが始まりました。「誕生日おめでとう」と一人が歌をうたいはじめると、みんなが続きます。友だちも同じ気持ちだということがわかり、笑顔があふれます。



小さい組にとって大きい組の子どもたちがやっていることは、とても魅力的です。運動参観でやっていた『パルーン』をやりたいとなった1・2歳児にやり方を教えてくれる年長児もいます。

年長児の小さい子を思いやる優しい関わりがあります。



年中児は、好きな絵本の中に出てくるカレーライス作りを大きなしゃもじを使って再現しています。友だちが必要な材料を次から次に運んでくれます。



あかちゃんの手が上手です。

『おかあさんこっこ』は、子どもたちが、お母さんの姿をよく見ている事に気づかれます。



年中児はドラムとすのこを使い、今までと違う使い方ができる事に気づき、試しています。



次は僕の番と、お友だちのあとに続きます。



トングを慎重に使って、盛り付け中です。



「ねえ。みてみて!!」と言わんばかりにバランスを取って立っているのは0歳児です。遊びの中でたくさん体を使って、少しずつできる事が増えていく事が嬉しくて、誇らしげな表情です。

年長児が砂場で手作りのすべり台を考え中です。砂だけではうまく滑らずブルーシートを使う事を思いつき、様子を周りで見ている年少児も興味深々です。